

岐阜工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)		授業科目	コンパイラ		
科目基礎情報								
科目番号	0137			科目区分	専門 / 選択			
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	電気情報工学科			対象学年	5			
開設期	前期			週時間数	2			
教科書/教材	IT Text コンパイラとバーチャルマシン(今城 哲二,他・オーム社)							
担当教員	出口 利憲							
到達目標								
コンパイラの役割と構成及び実現方法を理 解する。 (1) コンパイラの役割・構成を理解する。(2) 字句解析を理解する。 (3) 構文解析を理解する。 (4) 意味解析を理解する。 (5) コード生成を理解する。 (6) プログラミングパラダイムを理解する。								
ルーブリック								
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安			
評価項目1	コンパイラの構成要素およびその役割に関する問題を正確 (8 割以上) に解くことができる。		コンパイラの構成要素およびその役割に関する問題をほぼ正確 (6 割以上) に解くことができる。		コンパイラの構成要素およびその役割に関する問題を解くことができない。			
評価項目2	字句解析手法に関する問題を正確 (8 割以上) に解くことができる		字句解析手法に関する問題をほぼ正確 (6 割以上) に解くことができる。		字句解析手法に関する問題を解くことができない。			
評価項目3	下向き構文解析に関する問題を正確 (8 割以上) に解くことができる。		下向き構文解析に関する問題をほぼ正確 (6 割以上) に解くことができる。		下向き構文解析に関する問題を解くことができない。			
	記号表の構成法や探索法に関する問題を正確 (8 割以上) に解くことができる。		記号表の構成法や探索法に関する問題をほぼ正確 (6 割以上) に解くことができる。		記号表の構成法や探索法に関する問題を解くことができない。			
	コード生成法に関する問題を正確 (8 割以上) に解くことができる。		コード生成法に関する問題をほぼ正確 (6 割以上) に解くことができる。		コード生成法に関する問題を解くことができない。			
	プログラミングパラダイムに関する問題を正確 (8 割以上) に解くことができる。		プログラミングパラダイムに関する問題をほぼ正確 (6 割以上) に解くことができる。		プログラミングパラダイムに関する問題を解くことができない。			
学科の到達目標項目との関係								
教育方法等								
概要								
授業の進め方・方法	教科書に沿って授業を進める。							
注意点								
授業計画								
前期	1stQ	週	授業内容			週ごとの到達目標		
		1週	コンパイラの概要					
		2週	コンパイラの構成					
		3週	プログラム言語1(プログラミングパラダイム:手続き型,関数型)					
		4週	プログラム言語2(プログラミングパラダイム:論理型,オブジェクト指向型)					
		5週	プログラム言語の形式的記述					
		6週	字句解析(有限オートマトン)					
		7週	字句解析(字句読み取りプログラム)					
	2ndQ	8週	中間試験					
		9週	構文解析					
		10週	下向き構文解析					
		11週	中間表現と意味解析					
		12週	コード生成					
		13週	データフロー解析					
		14週	最適化					
		15週	例外処理と実行環境との連携					
		16週						
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標								
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週	
評価割合								
	試験		課題		合計			
総合評価割合	80		20		100			
得点	80		20		100			